

お知らせ

平成13年4月20日
海洋科学技術センター

「地球深部探査船」の起工式について

海洋科学技術センター（理事長 平野 拓也）は、本年度より建造を進めております「地球深部探査船」の起工式を、下記のとおり行うことといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 日 時 平成13年4月25日（水）
午後12：30～午後1：00
2. 場 所 三井造船株式会社玉野艦船工場
（住所：岡山県玉野市玉3丁目1番1号）
（電話：0863-23-2210 艦船営業部）

- [会場案内図（会場位置・道順）](#)
- [取材要領について](#)
- [深海地球ドリリング計画について](#)
- [地球深部探査船について](#)
- [スケジュール](#)

問い合わせ先

海洋科学技術センター

総務部普及・広報課 志村、月岡、小柳津

電話 0468-67-3806

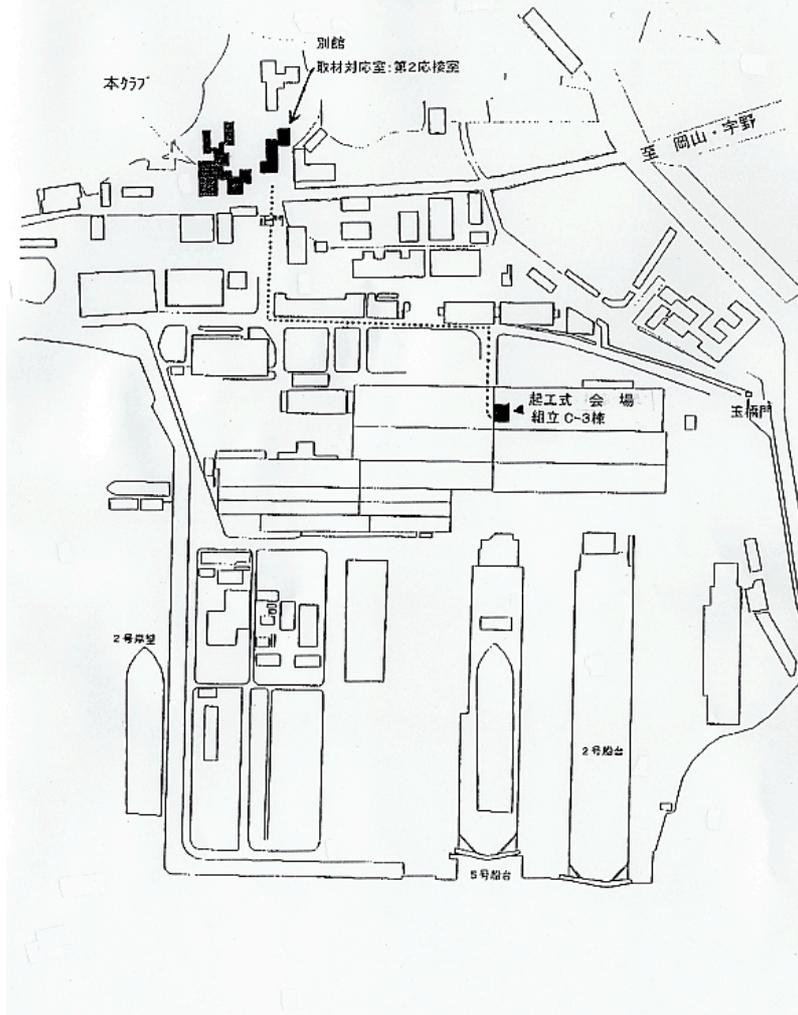
企画部深海地球ドリリング計画推進室企画調整課 田中、長谷部

電話 0468-67-3494

（取材要領）

1. 当日は、三井造船（株）玉野艦船工場の正面受付にて、起工式の取材のため来訪した旨を告げてください。
2. 起工式会場（組立C-3棟）及び取材控室（別館 第2応接室）は、会場案内図のとおりです。
起工式の開始前に到着されたときは、取材控室で待機していただきます。
3. 起工式に関する取材の対応は、海洋科学技術センターが行います。
ご質問などがありますときは、当センター職員へお願いいたします。
4. 起工式会場以外の場所への立ち入り取材は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

平成13年4月25日「地球深部探査船」起工式
会場位置



三井造船(株)玉野事業所に来社される方へ

玉野事業所への道順

<電車の場合>

- 岡山駅よりJR宇野線または瀬戸大橋線に乗車、宇野駅（終点）にて下車。
所要時間：約60分。 料金：680円。
※ 瀬戸大橋線の場合は茶屋町にて宇野線に乗り換え。
- 宇野駅よりタクシーにて約10分、
または、「洪川・児島方面」行きのバスに乗り、「三井造船前」にて下車。約15分。

<特急バスの場合>

- 岡山駅前バスターミナル・8番ホームにて「瀬戸内国際マリンホテル」行きの特急バスに乗り、「三井造船前」で下車。
所要時間：約60分。 料金：810円。



深海地球ドリリング計画

地殻を形成する活動やそれを変形させる活動のほとんどは、海洋の下で起こります。また過去の地球環境の変動の歴史は海底の堆積物に保存されています。地球環境変動の解明や地震発生過程の解明等のためには、海底下深部の岩石資料を直接に掘削採取・分析したり、掘削孔を利用して地震計、歪み計、水圧計等を長期間に亘って設置しその動きを計測することが不可欠です。

海洋科学技術センターが提唱した深海地球ドリリング計画は、国際協力の下、日米が主導する新しい深海掘削計画（統合国際深海掘削計画：IODP）へと発展し、海洋科学技術センターが建造する地球深部探査船（世界で初めてライザー掘削技術を備えた科学用掘削船）と米国の従来型（ノン・ライザー）掘削船の2船を主として運用して行われる予定です。これら2船の提供による新しい技術と最新の研究設備によって、地球科学と生命科学に関する飛躍的な発展の機会を提供することが期待されています。

地球深部探査船

主要寸法

クラス	: NK, DPS-B
船体全長	: 210m
垂線間長	: 192.0m
船体全幅	: 38.0m
深さ	: 16.2m
喫水	: 9.2m
総トン数	: 約 57,500 トン
乗組員	: 150 人

稼働状態における環境条件

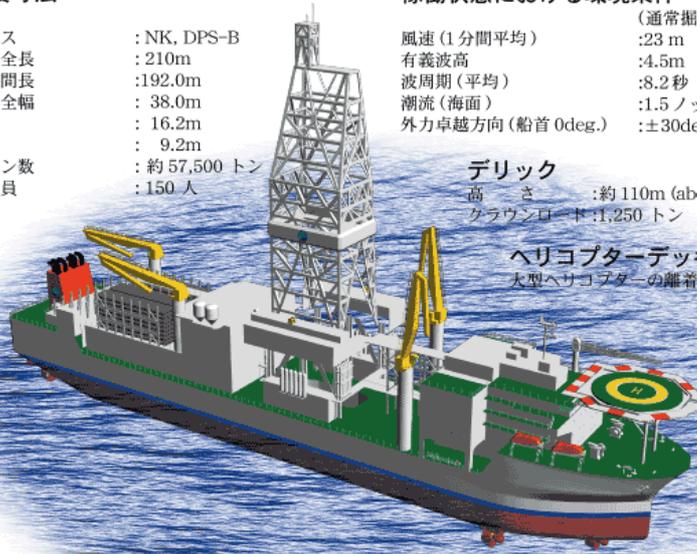
	(通常掘削状態)
風速(1分間平均)	: 23 m
有義波高	: 4.5m
波周期(平均)	: 8.2 秒
潮流(海面)	: 1.5 ノット
外力卓越方向(船首 0deg.)	: ±30deg.

デリック

高さ	: 約 110m (above draft)
クランロード	: 1,250 トン

ヘリコプターデッキ

大型ヘリコプターの離着陸が可能



ライザー使用時における掘削能力

最大稼働水深	: 4,000m (初期稼働水深 2,500m)
ドリルストリング	: 12,000m (初期: 10,000m)

サブシーステム

21 インチライザー	: (初期: 2,500m, 最終: 4,000m)
BOP: 2x アニュラータイプ	18-3/4" 10,000psi
5x ラムタイプ	18-3/4" 15,000psi

スラスタ

船首トンネルスラスタ	: 1x2,550kw
アジマススラスタ	: 6x4,100kw

居住区画

個室	: 128室
二人部屋	: 11室
公室	: 医務室, 娯楽室, 食堂

概略主要寸法

長さ 210m
高さ 116m
幅 38m
乗組員 150名
総トン数 約 60,000トン



海洋科学技術センター

スケジュール

本計画は、現行の ODP 計画に引き続き、2003 年 10 月の開始が予定されています。日本の「地球深部探査船」は 2004 年の完成、その後の訓練航海を経て 2006 年に科学掘削開始を目指しています。また米国の提供する従来型掘削船は、2005 年の運用開始が計画されています。IODP 計画の初期には、これら深海掘削船の運用開始に必要な様々な準備が実施されることになっています。

深海掘削を用いた地球システムの総合理解と
新しい地球観の創造を目指して



JAMSTEC



海洋科学技術センター
深海地球ドリリング計画推進室

〒 237-0061 神奈川県横須賀市夏島町 2-15

Tel. 0468-67-5657 Fax. 0468-66-5351

URL : <http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/odinfo/>

e-mail : od21@jamstec.go.jp